

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： オープンデータ利活用のためのデータ検索エンジンの構築

2. 個人研究者名

加藤 誠（筑波大学図書館情報メディア系 准教授）

3. 事後評価結果

「世界中のオープンデータを整理し、誰でも利用できる」データ検索エンジンの開発を目指し、オープンデータへのアクセスの一元化と、より高度なクエリへの対応を実現するシステム開発を行った。また、各データから得られる知見やデータの傾向を検索結果として示すことで、ユーザーのデータ理解を促した。

オープンデータの利活用という目標を具体的な課題へ落とし込み、検索エンジンの実現へ着実に開発を行ったと認められる。その成果として特に、国際的な共同研究やパネル討議を通して、データ検索のテストコレクションを構築したことが評価できる。

今後は、実サービスの運用に向けた研究開発のさらなる進展に期待する。単なる検索システムにとどまるのではなく、ニュースの真偽を統計情報から判定可能としたり、常に引用・参照情報を監視する仕組みを整えるなど、新しい社会の基盤となるよう、技術の適用先を考えてほしい。